

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 28 日 (2016.1.28)

【公開番号】特開 2015-44131 (P2015-44131A)

【公開日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【年通号数】公開・登録公報 2015-016

【出願番号】特願 2014-252333 (P2014-252333)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 2 日 (2015.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機に対して 1 対 1 で設けられ、遊技に使用する有価価値を特定可能な遊技用記録媒体を受け付ける複数の遊技用装置と、

該遊技用装置と通信可能な管理装置と、

を備えた遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

遊技価値を減算し該減算した遊技価値に相当する遊技媒体を遊技に使用するために返却する遊技媒体返却処理を実行可能であり、

受け付けた前記遊技用記録媒体を特定可能な遊技用記録媒体識別情報と当該遊技用装置を特定可能な遊技用装置識別情報とを含む受付情報を前記管理装置に送信するものであり、

使用する遊技媒体に第 1 の価値が設定された第 1 設定の遊技用装置、及び、使用する遊技媒体に前記第 1 の価値と異なる第 2 の価値が設定された第 2 設定の遊技用装置を含み、

前記管理装置は、

前記受付情報に基づいて、移動元である一の遊技用装置から移動先である他の遊技用装置に一の遊技用記録媒体を移動する台移動が行われた旨と、前記第 1 設定の遊技用装置から前記第 2 設定の遊技用装置への遊技用記録媒体の台移動が行われた旨とを特定する台移動特定手段と、

前記台移動特定手段により特定された前記一の遊技用記録媒体の台移動に関わる台移動データを集計する集計手段と、を有し、

前記台移動特定手段は、前記遊技媒体返却処理により減算された遊技価値が零になることで前記遊技用装置から送信される情報に基づいて、前記一の遊技用記録媒体に関する台移動が終了したことを特定可能であることを特徴とする遊技用システム。

【請求項 2】

遊技機に対して 1 対 1 で設けられ遊技に使用する有価価値を特定可能な遊技用記録媒体を受け付ける複数の遊技用装置であり、使用する遊技媒体に第 1 の価値が設定された第 1

設定の遊技用装置、及び、使用する遊技媒体に前記第１の価値と異なる第２の価値が設定された第２設定の遊技用装置と通信可能な管理装置であって、

遊技価値を減算し該減算した遊技価値に相当する遊技媒体を遊技に使用するために返却する遊技媒体返却処理を実行可能な前記遊技用装置が受け付けた前記遊技用記録媒体を特定可能な遊技用記録媒体識別情報と当該遊技用装置を特定可能な遊技用装置識別情報とを含む受付情報を受信し、

前記受付情報に基づいて、移動元である一の遊技用装置から移動先である他の遊技用装置に一の遊技用記録媒体を移動する台移動が行われた旨と、前記第１設定の遊技用装置から前記第２設定の遊技用装置への遊技用記録媒体の台移動が行われた旨とを特定する台移動特定手段と、

前記台移動特定手段により特定された前記一の遊技用記録媒体の台移動に関わる台移動データを集計する集計手段と、を有し、

前記台移動特定手段は、前記遊技媒体返却処理により減算された遊技価値が零になることで前記遊技用装置から送信される情報に基づいて、前記一の遊技用記録媒体に関する台移動が終了したことを特定可能であることを特徴とする管理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、前記課題を解決するために、次のような手段を採る。なお後述する発明を実施するための最良の形態の説明及び図面で使用した符号を参考のために括弧書きで付記するが、本発明の構成要素は該付記したものには限定されない。

まず請求項１に係る発明は、

遊技機に対して１対１で設けられ、遊技に使用する有価価値（残額，貯玉数，持玉数，計数値）を特定可能な遊技用記録媒体を受け付ける複数の遊技用装置と、

該遊技用装置と通信可能な管理装置と、

を備えた遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

遊技価値（持玉数）を減算し該減算した遊技価値に相当する遊技媒体を遊技に使用するために返却する遊技媒体返却処理を実行可能であり、

受け付けた前記遊技用記録媒体を特定可能な遊技用記録媒体識別情報と当該遊技用装置を特定可能な遊技用装置識別情報とを含む受付情報を前記管理装置に送信するものであり、

使用する遊技媒体に第１の価値が設定された第１設定の遊技用装置、及び、使用する遊技媒体に前記第１の価値と異なる第２の価値が設定された第２設定の遊技用装置を含み、

前記管理装置は、

前記受付情報に基づいて、移動元である一の遊技用装置から移動先である他の遊技用装置に一の遊技用記録媒体を移動する台移動が行われた旨と、前記第１設定の遊技用装置から前記第２設定の遊技用装置への遊技用記録媒体の台移動が行われた旨とを特定する台移動特定手段と、

前記台移動特定手段により特定された前記一の遊技用記録媒体の台移動に関わる台移動データを集計する集計手段と、を有し、

前記台移動特定手段は、前記遊技媒体返却処理により減算された遊技価値が零になることで前記遊技用装置から送信される情報に基づいて、前記一の遊技用記録媒体に関する台移動が終了したことを特定可能であることを特徴とする遊技用システムである。

この遊技用システムによれば、管理装置において、一の遊技用記録媒体について、台移動が行われた旨と、第１設定の遊技用装置から第２設定の遊技用装置への台移動が行われた旨とが特定され、該台移動に関わる台移動データを集計することができ、また遊技者の

意思により遊技を終了した場合に、台移動が終了したことを特定可能である。

また請求項 2 に係る発明は、

遊技機に対して 1 対 1 で設けられ遊技に使用する有価価値（残額，貯玉数，持玉数，計数値）を特定可能な遊技用記録媒体を受け付ける複数の遊技用装置であり、使用する遊技媒体に第 1 の価値が設定された第 1 設定の遊技用装置、及び、使用する遊技媒体に前記第 1 の価値と異なる第 2 の価値が設定された第 2 設定の遊技用装置と通信可能な管理装置であって、

遊技価値（持玉数）を減算し該減算した遊技価値に相当する遊技媒体を遊技に使用するために返却する遊技媒体返却処理を実行可能な前記遊技用装置が受け付けた前記遊技用記録媒体を特定可能な遊技用記録媒体識別情報と当該遊技用装置を特定可能な遊技用装置識別情報とを含む受付情報を受信し、

前記受付情報に基づいて、移動元である一の遊技用装置から移動先である他の遊技用装置に一の遊技用記録媒体を移動する台移動が行われた旨と、前記第 1 設定の遊技用装置から前記第 2 設定の遊技用装置への遊技用記録媒体の台移動が行われた旨とを特定する台移動特定手段と、

前記台移動特定手段により特定された前記一の遊技用記録媒体の台移動に関わる台移動データを集計する集計手段と、を有し、

前記台移動特定手段は、前記遊技媒体返却処理により減算された遊技価値が零になることで前記遊技用装置から送信される情報に基づいて、前記一の遊技用記録媒体に関する台移動が終了したことを特定可能であることを特徴とする管理装置。

この管理装置によれば、一の遊技用記録媒体について、台移動が行われた旨と、第 1 設定の遊技用装置から第 2 設定の遊技用装置への台移動が行われた旨とが特定され、該台移動に関わる台移動データを集計することができ、また遊技者の意思により遊技を終了した場合に、台移動が終了したことを特定可能である。

なお本発明は、以下の手段 1 ～ 8 に掲げる発明も含む。